

白崎 徹 SHIRASAKI, Toru

1970 福井市生まれ

1995 滋賀大学大学院美術教育専修 修了

現在 坂井市立三国中学校教諭



◆個展 京都市、福井市、若狭町など

◆企画・グループ展

ギャラリーTAF:京都市／ギャラリーG2:福井市／ふくいビエンナーレ7「アンプラグド」:福井市美術館／ARTDOCUMENTO1「森から町へ」:金津創作の森／「交感する種 vol2」:金沢市民芸術村／BJ(美術準備室)展:福井市・金沢市・大阪市／他

◆公募展

IBMびわこ現代絵画展／滋賀県芸術祭93芸術祭賞／西宮市展93奨励賞／とよた美術展04／国民文化祭現代美術展05 県教委賞／神通峡トリエンナーレ06奨励賞／など



「断片シリーズ」ミクストメディア 2020年



「Other Sky」鉄・流木など 2022年

< テーマ「境界」に寄せて >

一連の作品制作では、自然との向き合い方をずっと考えています。人間が快適な生活を送ることと自然・生物の生態系バランスを保つこととの「境界」はどこにあるのだろう、とか、一度獲得した便利な生活をどこまで手放せばバランスがとれるのだろう、とか。

自然を慈しみ、接し方を考えれば、そもそも戦争などという全ての破壊行為に繋がってしまうようなエゴなど、思いつくこともないだろうな、とか。空には「境界」などなく、繋がっている筈なのにな、とか。別の空の出来事にしちやいけないな、とか……。